

JACC 比較文化会報

本部事務局：〒803-0835 福岡県北九州市小倉北区井堀1丁目3番5号
西南女学院大学 観光文化学科 林裕二研究室内
会長室：〒803-0835 福岡県北九州市小倉北区井堀1丁目3番5号
西南女学院大学 観光文化学科 八尋春海研究室内
学会HP：<http://www.hikakubunka.jp/>

《日本比較文化学会第42回全国大会・2020年度国際学術会議》

大会準備委員長・九州支部長
八尋 春海（西南女学院大学）

日本比較文化学会第42回全国大会・2020年度国際学術会議が、2020年5月23日（土）に北九州国際会議場で開催されます。2014年にも同じ会場で全国大会が開催されましたが、その際に特に会場へのアクセスの良さについて多くの参加者から肯定的なコメントをいただきましたので、再度、ここで開催することとしました。皆様方のご参加を心より歓迎申し上げます。

会場は、JR小倉駅の新幹線口からすぐのところであり、屋根付きの動く空中歩道を通って行くと雨天時にもほとんど傘を必要としません。また、飛行機でおいでになる方には、北九州空港だけでなく福岡空港という選択肢もあります。ちなみに、福岡と羽田の航空路線は、世界で2番目に利用者の多い路線であり、LCCを含むいくつもの航空会社が就航しており、安くて便利です。

ところで、北九州市は福岡市と同様に、提携学会のある韓国や台湾とも距離が近いので、これらの地域から日ごろより多くの観光客が訪れています。そのため、地方都市であるにもかかわらず、街中にはハングルや繁体字などの言語表記やアナウンスが充実しています。

他方、この会報が発行される頃はまだコロナウイルスの猛威が収まっていないかもしれないという不安要素もあります。大会開催時には皆さまが安心して参加できることを願うばかりです。

6年前の「大会発表抄録」を見てみますと、当時の提携学会はまだ2学会でしたので、その後、短期間の間に本学会が大きく国際化を遂げたことが分かります。今度の大会でも提携学会から多くのみなさまがご発表なさいます。

みなさまと再会できますことを楽しみにしております。

《日本比較文化学会第42回全国大会・2020年度国際学術会議スケジュール》

日時：2020年5月23日（土）

会場：北九州国際会議場（福岡県北九州市）

【スケジュール】

2020年5月23日（土）

8:50 受付開始

9:15～10:50 総会（途中理事会を含む）

11:00～12:20 シンポジウム

12:20～13:30 昼食

13:30～16:40 研究発表

16:40～17:35 講演 ジャンクリスチャン・ブーヴィエ先生

18:00～20:00 懇親会

※プログラム・発表抄録集は、4月中旬に学会サイトにアップいたします。

※懇親会は事前の申し込みをお願いいたします。詳しくは、4月中旬に学会サイトにアップいたします。

※研究発表の募集は2月21日に締め切っております。

【大会会場へのアクセス】

JR 小倉駅の新幹線口（海側）から出て地上に降りずに、右手に見える空中歩道を北側に歩く。突き当りの建物（西日本総合展示場）の道路をはさんで右にあるのが会場。駅より徒歩で約5分程度。

《支部報告》

東北支部

* 【お知らせ】2019年度東北支部大会の開催

日時：2020年3月15日（日）14:30～17:30（予定）

場所：仙台市福祉プラザ10階 第3研修室

※コロナウィルス流行への対策として、3月に開催される支部大会を中止・延期にする可能性があります。最終決定については学会ホームページでご確認ください。

支部長 伊藤 豊

関東支部

* 【報告】東北・関東支部合同例会

日時：2019年9月7日（土）13:30～

場所：神田外語学院本館5階1-504教室／1-505教室

プログラム

(セッションA)

- (1) 奴久妻 駿介 (パークレーハウス語学センター) 「日本の外国人児童生徒と公的領域の関係性—不就学と日本語教育の事例—」
- (2) 木下 哲生 (防衛大学校) 「スタジオジブリのアニメーション映画に見る『子どもの成長』—『となりのトトロ』における子どもの『分』という観点から—」
- (3) 高橋 正 (創価大学) 「死生観の比較文化学構想」
- (4) 木鎌 耕一郎 (神戸松蔭女子学院大学) 「明治期カトリック宣教師における日本観の諸相」
- (5) 高 揚 (筑波大学大学院) 「再依頼から合意形成に至る断りの会話の展開構造—断る側の日本語母語話者と中国人日本語学習者の比較—」
- (6) 梁 鎮輝 (宇都宮大学大学院) 「露伴における『骨董』の意味すること—『美術』の圏外として—」

(セッションB)

- (7) 茂石チュック・ミリアム (スロヴェニア大使館) 「ジラールの欲望三角形を漱石の『こゝろ』で考える」
- (8) 横地 徳広 (弘前大学) 「呪われた英雄と政治的仮象」
- (9) 森崎 巧一 (京都経済短期大学) ・高木 亜有子 (湘北短期大学) 「画像解析を取り入れた印象評価分析ツールの開発の報告— WEB アンケートツールおよび画像解析ツールの改良—」
- (10) 高木 亜有子 (湘北短期大学) ・森崎 巧一 (京都経済短期大学) 「対比較と画像解析を用いたロゴマークの類似性分析」

* 【お知らせ】 第52回関東支部例会および2019年度関東支部総会

日時：2020年3月21日(土) 13:30~18:00(予定)

場所：東京未来大学 (教室未定)

※コロナウィルス流行への対策として、3月に開催される支部大会を中止・延期にする可能性があります。最終決定については学会ホームページでご確認ください。

支部長 近藤 俊明

中部支部

* 【報告】

2019年10月31日付で、日本比較文化学会『比較文化研究』第137号を編集・刊行した。
(編集責任者：中部支部副支部長 澤田 敬人 [静岡県立大学])

* 【報告】 中部支部第11回支部大会

日時：2019年11月30日(土)

場所：浜松学院大学

プログラム

(研究発表)

- (1) 大崎 洋 (愛知大学総合郷土研究所) 「『カラオケ喫茶』という地域文化」
- (2) 白鳥 絢也 (常葉大学) 「『地域教育課題研究』の授業スタイルに関する研究」
- (3) 風早 悟史 (山口東京理科大学) 「ラフカディオ・ハーンの新訳研究—“Yuki-Onna”における雪女の台詞の新訳を中心に—」
- (4) 津村 公博 (浜松学院大学) ・ 田島 喜代美 (浜松学院大学) 「『送り出し地域』と『受け入れ地域』の2国間における協働学習カリキュラムの開発」
(勉強会)

田島 喜代美 (浜松学院大学) 「地域の大学の役割と地域を担う人材育成—地域イノベーションの視点から—」

*** 【報告】 シンポジウムのパネリストについて**

日本比較文化学会第42回全国大会・2020年度国際学術会議におけるシンポジウムのパネリストとして、中部支部より田島喜代美会員が選出された。

*** 【お知らせ】**

中部支部は、新型コロナウイルスへの感染リスクが高まっていることから、皆様の安全を考慮し、2020年3月14日(土)に開催を予定しておりました2019年度例会(於・椋山女学園大学)を中止することといたしました。

既に発表を申し込んでくださった皆様のお気持ちを拝察しますと断腸の思いではございますが、皆様の安全確保を最優先に考え、このような決断をさせていただきましたことを、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

支部長 白鳥 絢也

関西支部

*** 【報告】 2019年度12月例会**

日時：2019年12月7日 13:30~16:50

場所：同志社大学今出川キャンパス 良心館407教室、408教室

プログラム

1. 研究発表 (13:30~16:00 良心館407教室、408教室)
(良心館407教室)
 - (1) 銭 蕾 (大阪大学大学院) 「中国におけるヤオイ愛好者のイギリスドラマ『SHERLOCK』の受容—関係性の読み替えを中心に—」
 - (2) 劉 薈 (中央大学大学院) 「中国内陸部貧困地域の受験文化と家族の教育機能の変容—江西省J県を例にして—」
 - (3) 前田 葵 (京都大学大学院) 「The issue of gender inequality content remaining in Japanese secondary English education」
 - (4) 廣田 麻子 (和歌山県立医科大学) 「シェイクスピアはいかに西洋古典文学を自作に取り入れたのか：詩的想像力の源を探る」
(良心館408教室)
 - (5) 孫 睿卿 (同志社大学大学院) 「雲南省地域を中心とした中国人日本語学習者の聴解力向上

のための一考察—音素・語彙・資格試験の関係性を中心に—

(6) 道合 裕基 (京都大学大学院) 「太宰治『葉桜と魔笛』におけるコナン・ドイル『まだらの紐』からの影響の可能性について」

(7) 呉 恩英 (大阪経済法科大学アジア研究所) 「総連の機関紙における在日朝鮮人美術家の活動—1950年代から1960年代を中心に—」

2. 講演 (15:50~16:35 良心館407教室)

中川 久公先生 (京都恵美須神社宮司・同志社大学嘱託講師) 「日本の伝統 (食のよもやま話)」

3. 関西支部総会 (16:35~16:50 良心館407教室)

1. 関西支部役員人事の件、2. 会計報告、3. その他

支部長 山内 信幸

中国・四国支部

* 【お知らせ】 中国・四国支部大会

日時：2020年3月27日 (土) 13:30~ (12:30より総会を予定)

場所：香川大学教育学部

※新型コロナウイルス肺炎の流行の状況により中止または延期の可能性あり

支部長 轟木 靖子

九州支部

* 【報告】 2019年度関西・中国四国・九州3支部合同研究会

日時：2019年12月21日 (日) 13:00~17:00

場所：西南女学院大学5号館 (北九州市小倉北区井堀1-5-3)

協賛：北九州市、(公財)北九州観光コンベンション協会

プログラム

1. 研究発表

(第1室)

(1) 山口 裕美 (津山工業高等専門学校) 「1823年のチャイルド・ハロルド—『ドン・ジュアン』と書簡をめぐる—」

(2) 三成 清香 (下関市立大学) 「ラフカディオ・ハーンの描いた女性像—『鏡と鐘と』*Of A Mirror And A Bell* をてがかりとして—」

(3) 郭 春燕 (山口大学大学院) 「川端康成『人間の足音』論—魂の片足を喪失する人間—」

(4) 吉村 理一 (九州大学) 「通訳・翻訳教育と英語学研究の接点—修飾関係および時制表現を中心に—」

(5) 高瀬 博 (長崎県立長崎工業高校) 「これからの『英語教育』に求められるもの」

(第2室)

- (6) 藤山 和久 (広島経済大学) 「『制御機構』が学生生活に与える影響について」
- (7) 篠原 征子 (西南女学院大学) 「『鵜を抱く女』の謎に関する一考察—『鴉尊』と関連して—」
- (8) 天野 裕子 (関西大学) 「ベトナム語母語話者の日本語の語彙学習ストラテジーに関する質的調査」
- (8) 大谷 鉄平 (長崎外国語大学) 「『賢い消費者』となるための日本語リテラシー教育実践に関する一考察」

支部長 八尋 春海

《事務局より》

事務局長 林 裕二

○会員情報更新のお願い

住所不明により学会誌や会報をお届けできない会員の方がいらっしゃいます。就職、転勤等によるお引越の際には、忘れずに会員調査書に新情報をご記入の上、会員調査書送付先アドレスまでお送りください。なお会員調査書は学会ウェブサイトよりダウンロードしていただけます。

<日本比較文化学会 ウェブサイト 入会・会員情報変更>

http://hikakubunka.jp/?page_id=97

<入会申込書・会員調査書送付先>

あゆみコーポレーション (業務委託先) hikakubunka@a-youme.jp

○会費納入のお願い

会費の納入にいつもご協力いただき感謝いたします。2年以上未納(学生会員については1年以上)の場合には会員資格を失うこととなりますのでご注意ください。

<会費振込情報>

郵便振替口座番号: 02570-6-8921 加入者名: 日本比較文化学会

振り込みの際には、所属支部と何年度分の会費であることを明記してください。